

狛江市の男女共同参画にかかる提言について

狛江市男女共同参画推進委員会は、市長より諮問を受け、狛江市の男女共同参画社会及びジェンダー平等の実現に向けて議論を重ねてきました。

令和5・6年度は「常識をアップデートしよう」をテーマに、「男女」という性別を限定した言葉ではなく、より広く多様性を受け入れることが可能で、現代社会に浸透している「ジェンダー」という言葉をベースに議論を重ねてきました。

「一人ひとりの違いこそが こまえを変える」

【提言】「わたし」が動く。多様性を活かして「みんな」が輝ける狛江を目指して。

< 具体的提言 >

1. 無意識の偏見に気づく・偏見を作らない

【目的】

- ・自分の中にあるアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み・偏見）に気づく
- ・自分と異なる価値観を否定せず、様々な視点から判断できるようにする
- ・アンコンシャス・バイアスが形成されないよう、周知、啓発する

【行動】

- ・パネル展や男女共同参画推進委員会が作成した情報誌の配布等を通し、知識や情報を広く市民へ周知することで、価値観のアップデートを図る

2. 違いを尊重する

【目的】

- ・「男女」に限らず、多様性を受け入れる社会を実現する
- ・自分らしい多様な生き方ができる社会、互いに尊重し合える社会を実現する

【行動】

- ・「ジェンダー」等、受け入れられやすい言葉を用いて情報を発信していく
- ・広報やホームページ、SNS等を活用した周知、啓発を行う
- ・LGBTQ当事者等、誰もが悩みを相談できる環境の充実を図る（心のカウンセリング相談窓口を充実させ、定期的な見直しを行う）

3. 身近なところから行動する

【目的】

- ・市民一人ひとりの意識を変え、ジェンダー平等を推進する
- ・家庭、地域、学校などの様々な場面で、誰もが対等な立場での参画を可能にする

【行動】

- ・実践的な情報を共有する（情報誌を活用し、リアルな男女共同参画に関する情報や先進的な取組を実践している事業者や人物に関する情報等を発信していく）
- ・性別に関わりなく誰もが対等な立場で様々な活動に参画できるような環境づくりを推進する（誰もが参画しやすい時間、場所、参加方法を提案する）